

観音寺市立学校再編計画検討委員会会議概略

(第7回会議)【公開用】

日時	平成20年10月9日(木) 午後7時30分～午後9時40分
場所	市民会館 第3会議室
出席者	委員18名(欠席2名)、 事務局7名

会議次第

- ・ 議題
- 1. 学校再編の具体的方策について
 - ・ 中間取りまとめ(素案)について
 - ・ パブリックコメントについて
- 2. その他

討議概要

(会議録署名人を指名後、議題に入る。)

1. 学校再編の具体的方策について(前回より継続)

- ・ 前回までの議論をもとに、事務局が中間取りまとめの素案を作成提示し、その内容について協議した。
- ・ パブリックコメント募集について説明、時期、周知内容、方法等について協議した。
- ・ 幼稚園の再編案について、叩き台となる事務局案を提示し議論した。
- ・ 素案に対する異論、幼稚園の再編案に対する意見があり、次回も継続し中間取りまとめの内容を協議することとした。

◎ 委員発言の主旨(同種の発言はひとつに要約。前回と同主旨の意見については省略。)

- * 小学校の再編案について、保護者からは、通学支援が考えられるなら、距離的に近いことよりもソフト面の充実を図り規模の大きい学校で子どもの選択肢を増やしたいという意見もある。
- * 現在の幼稚園のデータを見ると、規模が小さく子どもたちの遊びの多様性などの点で疑問がある園もある。幼稚園にもある程度の規模は必要と思う。
- * 幼稚園は旧観音寺市地区2園、大野原、豊浜1園という前提で提案されているが旧観音寺市地区3園という考え方はできないか。
- * 幼稚園の園舎は老朽化したものが多い。園舎の建替え、場所の問題等はどう考えるか。
- * 3歳児保育、給食、預かり保育の要望がある。それによって幼・保のバランス、再編の考え方も変わるのではないか。
- * 幼稚園の預かりと保育所の保育料を比べると幼稚園が安くそちらに流れる傾向は否定できないが、本来、保育は保育所がカバーする分野で国の管轄の問題もある。

(事務局回答:現在の幼稚園の園舎はいずれも老朽化しており、再編対象の園ではその園

舎をそのまま利用して統合ということは難しいと考えている。用地の広さが足りないなら別の場所という選択肢もある。旧観音寺市地区では民間の幼稚園や保育所も存在しており、幼・保の施設の性格・役割分担を考えたとき預かり保育を幼稚園で行う事は考えていない。給食については現在の施設上の搬入や保管の問題がクリアできれば対応することも可能であり、3歳児についてはすでに観音寺・柞田2園で実施していてその延長線上の話になる。現実的に用地の確保、園舎の建替え等を考えると3園というのは難しい。）

* パブリックコメント募集時にはどの程度の情報を開示するのか。方法は。

（事務局回答：広報紙、ホームページ、庁舎等での閲覧を考えている。再編案はもちろん、基本的な考え方、児童・生徒の状況・将来予測、施設の状況、委員の意見の概要等、意見を求めるにあたって参考になる事項は出すべきと考えている。広報紙に関しては紙面の都合で全部ということは難しいかもしれないが、判断材料は提供したい。募集していることに関しては、ケーブルテレビ、ホットメールなども利用し多くの人に知らせたい。具体的には観音寺市パブリックコメント手続要綱に沿って実施する。）

2. その他

- ・ 次回会議の日程を10月23日木曜日と決定した。